

びわこ文化公園植物だより〔β 版〕

ソヨゴ モチノキ科

学名 *Ilex pedunculosa*



冬から春にかけては林内で赤い実をつける樹木が多く見られます。公園内を歩いていると、沢山の赤い実をつけた木を見つけました。ソヨゴです。

ソヨゴは本州の関東以西、九州、中国、台湾に分布する常緑小高木です。西日本では山野にふつうに見られる木になります。山地の乾いた林内に生育し、葉の縁は全縁(丸い)で大きく波立っています。葉の表は濃緑色で光沢があり、裏は淡緑色で表裏とも毛はありません。

ん。樹皮は灰褐色で平滑であり、皮目が多い特徴があります。

葉が風にそよいでサヤサヤと音を立てるという意味の「戦(そよ)ぐ」が語源だとされています。どの樹木も風に吹かれればそよぐと思われそうですが、ソヨゴは葉の縁がなみなみした形をしていて、比較的硬めであるため、他の樹木と比較して葉同士がぶつかるときの音が目立つのではないのでしょうか。「戦」の他にも「冬青」や「フクラシバ」と呼ばれたりすることがあるそうです。

また「冬青」は冬でも青々としている植物を同じように呼ぶことがあるため、他の樹木でも異名として使用されています。そのため、そのように表記するときは、くしやそろばんだま、などの細工物や工具、手斧の柄などに使われることから、「具柄冬青」とも現わされるようです。

ソヨゴは地域によっては玉串として利用されることもあるようです。一般的には玉串にはサカキが利用されます。しかし、サカキの自生しない様な寒い地域である長野県ではソヨゴが使用されているといいます。玉串に使用される植物の特徴として常緑であるというこ

とが挙げられます。枯れ落ちる事のない緑の葉に神気が宿ると考えられているためです。

ソヨゴは標高 600～800m の他の常緑樹が生育できない様な所まで分布しているのが特徴です。通常、太平洋側の冷温帯林では道管内の水の通りが凍結と融解による気泡の発生よってさえぎられるエンボリズムが生じやすいことにより、常緑低木が生育しにくい環境であります。ソヨゴに関しては、道管が細い事で上記の減少が発生しにくく、寒い地域にも生息していると考えられます。そのような地域において、ほとんど唯一の常緑広葉樹であるソヨゴを代替に使用するの当然のことであるのかもしれませんが。

上記のことより、植物の温度に対応する特性が日本の地域性に関わっている事が見受けられます。これからも植物の特性や多様性を大切に生きていくためにも、普段の生活から自然に触れあう機会を増やしていきたいですね。



ソヨゴは園内の雑木林にふつうにあります。たとえば [ここ](#) で見ることができます。

ソヨゴ

モチノキ科 モチノキ属

基本データ

高さ：3~7m

実のなる時期：10~11月

山地の乾いた林内や
林縁に生育



赤い実をつける

風にそよぐと
『さわさわ』と良い音が!

戦々(そよ)ぐ → ソヨゴ



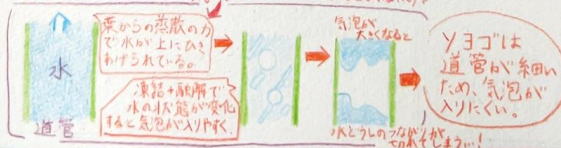
玉串に使用されることも!!

長野県などの寒い地域
(ツバキ、ヒサカキのかわり)

理由

寒い地域でも生育可能な
常緑樹のため。

なぜ生育できるのか
道管(植物の水の通り道)に気泡が入りにくく、上の方まで
水ととけられるため! なせ冬に気泡が入るとよくないの?



縁がなみなみしている



花は7mmくらい
の白色

〈参考サイト〉

丸田恵美子(2012)、冬の樹木の生理生態学、岩波出版

[https://www.fb.fr.a.u-](https://www.fb.fr.a.u-tokyo.ac.jp/pdf/physiological_ecology_of_trees_in_winter.pdf)

[tokyo.ac.jp/pdf/physiological_ecology_of_trees_in_winter.pdf](https://www.fb.fr.a.u-tokyo.ac.jp/pdf/physiological_ecology_of_trees_in_winter.pdf)

日本植物生理学会、植物 Q&A 道管の径、2019(最終アクセス日:2023/3/7)

https://jspp.org/hiroba/q_and_a/detail.html?id=4383&key=&target=

丸田恵美子、樹木の分布とエンボリズムから考える、東邦大学(最終アクセス日:2023/3/7)

<https://www.toho->

[u.ac.jp/sci/bio/column/034425.html](https://www.toho-u.ac.jp/sci/bio/column/034425.html)

松江の花図鑑、ソヨゴ(最終アクセス日:2023/3/7)

<https://matsue-hana.com/hana/soyogo.html>

島野光司、信州の自然と神社、信州大学理学部(最終アクセス日:2023/3/7)

https://science.shinshuu.ac.jp/~shimano/009_5_relationship_between_shrines_and_the_nature_in_shinshu.pdf

大五木材、風に戦(そよ)ぐ冬青(ソヨゴ)…1、2011(最終アクセス日:2023/3/7)

<https://morinokakera.jp/?p=24581>

(龍谷大学先端理工学部環境生態工学課程 4 年
栞原萌葉)